令和５年３月７日

第58回全国交歓京都大会における新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン

京都府高等学校体育連盟

バスケットボール専門部

　本専門部では、内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室、JBA、全国及び京都府高等学校体育連盟から発出された、新型コロナウイルス感染対策関連の文書を参考に、以下のように感染防止対策を講じます。

JBAバスケットボール事業・活動ガイドライン第５版（2022年5月12日作成）が公開されています。各チーム御参照くださいますようお願いいたします。

▼JBAバスケットボール事業・活動実施ガイドライン第５版（PDFファイル）

<http://www.japanbasketball.jp/wp-content/uploads/JBA_Guideline_5th_20220512.pdf>

※新型コロナウイルス感染症の陽性者や濃厚接触者となった方の療養期間・待機期間は、令和４　年９月７日付け厚生労働事務連絡に基づき、下記のとおり一部変更されています

　　【陽性者の療養解除の要件】

 　（1）症状のある方（有症状者の場合）

発症日から７日間経過し、かつ、症状軽快（解熱剤を使用せずに解熱し、呼吸器症状が改善傾向）後24時間経過した場合

（2）症状のない方（無症状者の場合）

検体採取日から７日間を経過した場合。なお、５日目の検査キットによる検査で陰性を確認した場合には、５日間経過後（６日目）に解除が可能。

ただし、有症状者の場合10日間経過、無症状者の場合７日間経過するまでは、自主的な感染予防行動の徹底をお願いします。

　　　　　【濃厚接触者の待機期間】

陽性者の感染可能期間内に陽性者と接触した日を０日として翌日から５日間を経過した場合。なお、陽性者と最終接触のあった日を０日目として翌日から２日目及び３日目に検査を行い、陰性であれば３日目から待機を解除することができます。

1　大会運営全般について

1. 大会主催者は本部に感染対策責任者を設置する。
2. 参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針について、保健所と予め検討しておく。
3. 万が一感染が発生したときには、保健所からの要請に従い、感染拡大防止に協力する。
4. 消毒等感染防止に必要な物品は、本専門部が準備する。
5. チーム及び選手の参加可否は所属校長が判断する。

2　会場運営について

1. 会場はこまめに換気をする。
2. トイレ・手洗い所等に消毒液を準備し、手指消毒を喚起する。
3. ベンチ等は隣席との身体的距離を確保できるように設置し、ロビー等でもグループ間は一席（立席の場合１ｍ）空ける。

3　参加者について

1. 参加者は、マスクなしでの掛け声や声を出しての応援はしないこと。（ベンチからの指示等は飛沫防止に十分配慮する。）試合中も、ベンチにいるときは体調に留意しながらできるだけマスクを着用する。試合前後または試合中の握手、ハイタッチなどの接触は避ける
2. 更衣室を利用する際はマスクを着用し、会話を最小限にすること。滞在時間を短くするため更衣に限定した利用とすること。
3. 飲食については、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話は控えめにすること。
4. その他ソーシャルディスタンスの確保、手洗いの励行など、基本的な衛生エチケットを遵守すること。ごみの持ち帰りを徹底し、特に使用後のマスク等を会場のゴミ箱に捨てたりしないこと。
5. 水分をこまめにとるなど熱中症予防を心がけること。なお、水分補給を行うときは、各自のペットボトルや使い捨て紙コップなどを用意し、飲み回し等を行わないようにする。
6. 参加者は、健康状態把握のために以下を実施してください。

ア）チーム関係者

①試合当日までに実施すること。

「健康チェックシート」（様式１）活用して、大会前2週間における体温及び健康状態の把握に活用してください。入館時に受付での確認や提出はありません。

自チーム試合開始日の４日前からの体調不良（有症状）者が出た場合には、該当者の参加は見合わせてください。チーム参加の是非については検討してください。

②試合当日、実施すること。

参加生徒、チーム関係者の体温・健康状態等を各チーム顧問が把握し、チームでまとまって入館してください。

　　イ）大会役員・審判・報道関係者等

　　　　　「健康チェックシート」（様式１）を活用して大会前・大会中の健康管理に努めてください。

　　　　入館時に受付での確認や提出はありません。

　　ウ）観客（チーム応援団、一般観戦者等）

　　　　　当日、37.5℃以上の発熱や、咳・のどの痛みなどの風邪症状等がある場合は入館できません。館内ではマスクを着用し、チーム関係者と接触はしないこと。また、飛沫感染防止の観点から下記の行為は禁止とします。

　　　　　　〇大きな声で歌を歌う、大きな声を出しての応援、指笛

　　　　　　〇バルーンスティック・メガホン・風船等の使用

1. 陽性者／濃厚接触者／体調不良者が判明した場合の対応について

ＪＢＡガイドライン第５版Ｐ18～20を御参照の上、Ｐ36～38のチーム対応フローを遵守して下さい。感染の恐れがある場合は、チームの出場辞退をお願いする場合があります。

「体調不良者との接触」には試合中も含まれます。場合によっては対戦チームに出場辞退をしていただく場合もあります。

４　その他

1. 大会開始日４日前～大会期間中において、陽性者・濃厚接触者・体調不良者が発生した場合、また、大会終了後２週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、大会感染対策責任者（福嶋一夫　京都府立鳥羽高等学校　075-672- 6788）に御報告下さい。
2. 記載内容については、各校顧問から生徒や保護者に連絡し、遵守するようにしてください。
3. 審判は原則ホイッスルカバーを着用してください。またマスク着用の上、電子ホイッスルの使用も可とします。
4. 顧問の先生は、選手の練習不足等の影響による傷害の防止に努めてください。
5. ガイドラインの記載内容については、各校顧問から学校関係者、生徒や保護者等に連絡し、遵守するようにしてください。
6. 取材等希望されるメディアの方は、専門委員長（佐々木直美　京都府立向陽高等学校　075-922-4500）に御連絡ください。